

専門・認定看護師委員会ニュース

平成26年度 第2号 静岡赤十字病院

まだまだ日中の暑さは真夏のようにですが、朝晩は涼しくなり秋の訪れを感じますね。

第1号に続き、今回も2つの領域の専門・認定看護師より、その役割や取り組んでいる活動について紹介します。



認知症看護認定看護師 松井里美・森藤あゆみ

認知症の方に対する 私たちの視点を変えてみましょう!!

超高齢社会となり、認知症がありながら他疾患の治療のために入院される患者さんが増えています。2012年の時点で、日本の認知症高齢者数は462万人、その予備軍は400万人と推定されており、**65歳以上の高齢者の4人に1人は認知症**とされています。



私たちの役割は…

- 患者さんの生活環境の調整やケアの実践・御家族のサポート
- 各病棟からの相談を受け、患者さんや御家族の話を伺い、病棟看護師と一緒にケア方法を検討し、継続したケアの実践の援助

認知症の方への適切なケアは…

知識+技術+経験+「気持ち」 知識や技術以上に「理解する気持ち」が大切!!

認知症の方は記憶障害があっても、感受性は最後まで保たれています。そのため、自分に向けられた言葉にとっても敏感です。

自尊心が傷つく言葉



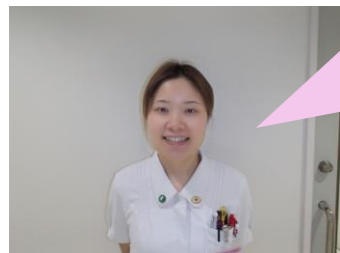
- 「～をさせる」
- 「～をやらせる」
- 「～をしては駄目」

自尊心や尊厳を守る言葉

- 「～していただく」
- 「お願いします」
- 「大丈夫ですよ」
- 「ありがとう」



認知症があり対応が困難な際には、「認知症の方を変えよう」とするのではなく、「私たちのケアや環境を振り返る・変える」ことに視点を変えてみる「スタッフみんなでその患者さんを見ていこう」とする意識を持って接していけたらいいなと日々感じています。



悩むことや困っていること
などがありましたら、是非
ご連絡下さい。
一緒に考えていきましょう!!



がん看護専門看護師 浅場 香

当院で初めての専門看護師です

専門看護師の役割は…

- 専門的な知識と技術を持ち、患者さんが自らの病気と向かい合っているように支援する
- 倫理的な視点から問題を解決する糸口を見つける
- 医療者と患者さんの関係やご家族と患者さんの関係、医療者間などの調整
- 医療者への教育
- 臨床研究

認定看護師の役割は…

- 専門的な知識と技術によって看護を実践し、医療者や患者さんが問題を解決していくことができるように支援する

私は、7年前に「がん化学療法看護認定看護師」の資格を取得し、化学療法センターを中心に仕事をしていました。外来化学療法をうける患者さんと関わる中で、がん患者さんへのより深い理解が必要と感じ、休職をいただき大学院で学び、昨年「がん看護専門看護師」の資格を取得しました。

専門看護師はサブスペシャリティという専門分野を持ちます。私のサブスペシャリティは「緩和ケア」ですが、認定看護師としての「がん化学療法看護」の知識を生かして、特に**治療期からの緩和ケアを提供することで、侵襲の多いがん治療を安全に提供できること、患者さんができるだけご自宅で、自分らしい生活を保つことができるように在宅療養支援に力を入れています。**

専門看護師の看護実践は…

- 直接患者さんに関わるだけでなく、患者さんに直接関わる多くの医療者が、効果的に関わるようなシステムを作ります
- カンファレンスで医療者と一緒に問題を考えることで、間接的に患者さんへの看護実践を行います



在学中に他の病院での実習を経て、改めて当院の良さを実感しました。学んできたことを当院に還元し、がん患者さんが自分らしい生活を送ることができるようにお手伝いさせていただきたいと思っています。

当院では初めての専門看護師となり、認定看護師との違いなど分かりにくいことが多いかと思います。皆さまにご指導をいただきながら、役割を果たせていけたらと願っております。よろしくお願いいたします。

編集後記

8月より皮膚排泄ケア認定看護師の杉山美津子さんが復職しました。当院には9分野14名の専門・認定看護師が活動しています。相談、勉強会等の要望がありましたら、気軽に声をかけて下さい。

感染管理認定看護師 秋山 裕子